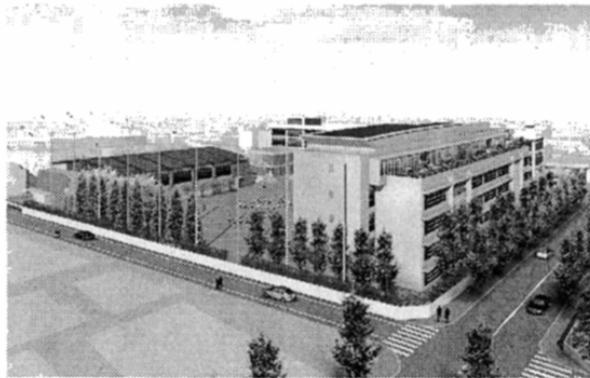


# 創立70周年 共学部を新設

東京都立大学等々力中・高校新校舎



完成予想

設計・監理—五島育英会総合計画室、東急設計コンサルタント  
施工—東急建設

## 五島育英会

東京都世田谷区にある東京都立大学等々力中学校・高等学校に新校舎を建設する五島育英会（東京都渋谷区、山口裕啓理事長）は13日、建設地となる同校敷地内で起工式を開いた。新校舎は、RC造5階建て延べ6320平方メートル。設計・監理は五島育英会総合計画室と東急設計コンサルタント、施工は東急建設が担当する。2010年8月の完成を目指す。神事では、鎌（かま）入れを東急設



鎌入れの山口理事長



鎌入れの下永田社長

計コンサルタントの下永田洋社長、鎌（くわ）入れを山口理事長と等々力中・高校の海老原大樹校長、鋤（すき）入れを東急建設の飯名隆夫代表取締役常務執行役員が行った。引き続き行われた直会（なおらい）で海老原校長は、「ことし創立70周年を迎え、学校法人を中心に抜本的な改革を進めている。10年4月の（男女）共学部の新設、新設に伴う新校舎建設は、その目玉事業と言える。新校舎で品性ある人格教育を目指していきたい」とあいさつした。設計を担当した東急設計コンサル

## 8月完成、人格教育を目指す



鋤入れの飯名常務執行役員



鋤入れの海老原校長

タントの下永田社長は、「由緒ある学校の伝統を継承した施設設計を心がけた。完成に向け、誠心誠意取り組み、より良い校舎を完成させたい」と述べた。また、東急建設の飯名代表取締役常務執行役員は、「創立70周年の記念すべき年に、新校舎の建設に携わることには名誉なことだ。品質の高い建物を提供するため全力投球で施工にあたる」と意気込みを語った。新校舎は、RC造5階建て延べ6320平方メートル。主に中学と高校の普通教室で構成する。1階と3階に連絡通路を設け、敷地の北側にある既

存第一校舎（地下1階地上4階建て延べ5476平方メートル）とつなげて一体感のある施設配置とする。第一校舎は、新校舎完成後、10年8月から11年3月にかけて段階的に改修工事に着手。1階部分に管理諸室、2階部分は「ストラテジー・インフォメーション・センター」（戦略的情報発信基地）と位置付け、図書室や学習支援室機能を配置する予定だ。敷地の南側にある既存第二校舎（延べ2307平方メートル）は、第一校舎の全面改修が完了した後で解体する。解体した跡地はグラウンドとして整備する。



最終的に、敷地北側の第一校舎、東側の新校舎、西側の既存体育館（延べ2934平方メートル）をコの字型に配置する計画となっている。建設地は、世田谷区等々力8-10-1の敷地1万1064平方メートル。木住野龍也作業所長（東急建設）の話「学校施設の施工というところで、常に生徒が学習している中での工事になる。騒音や振動が発生する作業時は、事前調整によって極力、教育に支障がない形で進めていきたい。近隣住宅地への配慮も徹底したい」

無断転載禁止 著作権は建設通信新聞社に帰属します  
転載承認済み